



SUPPORTERS

サポーターズ No.160 2022 秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 967名 施設数 152 (R4.9.15 現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。

山梨県理学療法士会は、
これからも県民の皆さまの
健康と生活を支えていきます

7月17日は、
理学療法の日

理学療法士は

- 力をつける、立つ練習、歩く練習などを行います。
- 電気や温熱、マッサージ治療などを行います。
- 食事、更衣、排泄、入浴など生活に必要な身の回り動作を総合的に獲得する日常生活活動練習を行います。
- 家屋改修や福祉用具のアドバイスを行います。

私たちは、障害を受けられた方の
前向きな気持ちを引き出し
生活の質の向上や社会復帰を
応援します！

理学療法に関する相談、山梨県内の理学療法実施施設のご案内など、相談窓口を設けております。



一般社団法人 山梨県理学療法士会

事務管理局 山梨県立あけぼの医療福祉センター 療科内
〒407-0046 山梨県基崎市旭町上線南割3251-1 TEL:0551-22-6112 担当(有泉)

<http://ypta.jp/>

#ypta 山梨県理学療法士会



CONTENTS

これからの2年	2
2021年度第40回協会賞の受賞	3

令和4年度 一般社団法人山梨県理学療法士会	
定期総会報告	4~5
お知らせ	6~9
リレーエッセイ Part42	10~11
原稿募集	10
編集後記	11

代表理事挨拶

Message from Representative Director



山梨県理学療法士会
会長

磯野 賢

甲州リハビリテーション病院

「これからの2年」

山梨県理学療法士会の役員選挙・総会を経て第1回理事会にて代表理事（会長）となりました磯野賢です。今後2年間の役割をいただき、新しい組織として士会運営に臨んでいくにあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず、コロナ禍の中、感染されました方々にお見舞い申し上げますとともに、全力で対応いただきました方々に感謝申し上げます。

さて、当士会は昨年、士会創立50周年の年であり、その中で次の50年を見据えることがテーマになりました。新しい50年を作っていくための重要な年、50年とは言わずとも3年先、5年先、10年先必

要とされる組織を目指していくための「これからの2年」を考える必要があると思います。この理学療法士会も我々理学療法士自身も必要とされるから存在意義がある。この事実をしっかり目を向け、取り組みを進めていきたいと思ひます。

理学療法士を取り巻く環境、士会運営におきましてはたくさんの課題があるものと承知しております。課題解決に力を注ぐことも大切ですが、それ以上になりたい未来を描き、そこに力を注いでいくことの方が重要と考えます。「みんなで作る・参加する士会」これに向けて今年度士会としまして、一つは特別委員会として士会組織検討委員会を設置します。創立から50年たった今、今後の組織の在り方、あるいは現在の課題、将来予測される課題に対応して行くための組織は、どのような機能を持った組織となるべきかということをごさまざまな角度から検討し、来年度以降の組織の在り方・機能を明らかにしていきます。

それと合わせて、新たに士会支部局を設け、県内理学療法士の横のつながりを強化し、ネットワークの再構築を図っていきたく思います。会員数が増えた今だからこそ、再度横のつながり、顔の見える関係づくりを進めていきたいと思ひます。そのほかにも、事務局の負担軽減と機能強化の取り組み、そして、SDGs（持続可能な組織づくり）の取り組みも強化していく必要があり、Goal3「すべての人に健康と福祉を」は特に目指すべきところであり、我々の目指す姿そのものです。

なりたい姿に向けて、士会を誰かがやっているものではなく、「自分が所属する大切な仲間がいる場所」にしていければと思ひます。まだコロナ禍ではありますが、みんなで作る・参加する士会を目指して進めてまいりたいと思ひます。ご協力、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

2021年度第40回協会賞の受賞



小林伸一
山梨県理学療法士会第6代会長



日本理学療法士協会の2021年度第40回協会賞について、小林伸一第6代士会長が受賞されましたのでご報告いたします。

小林前会長は昭和57年に理学療法士になって以来、山梨県士会にとどまらず日本理学療法士協会においても活躍されてきました。

日本理学療法士協会においては、会館検討特別委員会、地域対策包括本部等で活動をいたしました。

当県士会においては、厚生部長、組織規約委員長等を早くから歴任され、平成13年には士会創立30周年記念事業実行委員長、平成23年には第46回全国研修会大会長を務め、それぞれの事業を成功に導きました。

平成24年の一般社団法人格取得後からは第6代士会長に就任し、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会の立ち上げに尽力するなど、PT、OT、STの垣根を越えて活躍いたしました。

近年では長年の懸案事項であった士会支部化について陣頭指揮を執り、その成果は今年度から士会支部（中西部支部、富士東部支部）設立として結実しました。

令和3年度はリハ専門職団体協議会合同学会では大会長として、そして士会創立50周年記念事業でその力を存分に発揮していただくことになっていましたが、病魔に襲われ令和3年5月に永眠いたしました。

生前小林会長ご本人から「自分は協会賞受賞の推薦対象者になっていると思うが、会長職であるうちは協会賞の推薦を辞退する」とのお言葉があり、推薦を行ってきませんでした。

今となっては生前の表彰を受けられなかったこと、懺悔の念でいっぱいです。

6月下旬に協会から、表彰状と記念の盾が送られてきましたので、7月3日（日）に磯野賢会長とともにご自宅を訪問し、協会賞受賞の報告をいたしました。

併せてご報告させていただきます。

事務管理局 局長 有泉 静佳
(山梨県立あけぼの医療福祉センター：yamanashi.pt.jimu@gmail.com)

定期総会報告

令和4年6月15日（水）に行われた、一般社団法人山梨県理学療法士会 令和4年度定期総会についてご報告いたします。

1、定足数の報告、出席者・委任状について

5月16日現在、正会員数927名に対して
・出席者数41名（うちオンライン参加36名） ・委任状数596名
よって、一般社団法人山梨県理学療法士会定款（以下、定款とします）第21条に則り総会は成立いたしました。

2、議事

提案されたすべての議事については、一部追記を行う部分がありましたが承認されました。

3、役員の変更について

本年は定款第31条1項および31条2項により、理事および監事の改選期となりました。一般社団法人山梨県理学療法士会役員（理事・監事）候補選挙管理規定第5条に則り行われた選挙結果が三浦選挙管理委員長から報告され、総会の決議を経て新しい理事および監事が選任されましたので、この場を借りてご報告いたします。

・理事（敬称略）

北山 哲也、渡邊 修司、平賀 篤、小林 司、菊池 信、鮎川将之、
高村 浩司、古屋 伴仁、磯野 賢、井村 順治、大西 正紀、
有泉 静佳、三科 貴博、鈴木 聡

・監事（敬称略）

谷村 英四郎、齋藤 智雄

4、役員配置について

同日行われた令和4年度第1回理事会において、磯野賢先生が代表理事（会長）に就任いたしました。

磯野会長の指名によって、副会長には、高村浩司先生、三科貴博先生、小林司先生、北山哲也先生の4名が就任いたしました。

なお各局長は以下のとおりです（敬称略）

事務管理局长：有泉静佳、企画局长：井村順治、学術研修局长：渡邊修司、
生涯学習局长：鮎川将之、学術大会局：菊池信、社会局长：古屋伴仁
福祉厚生局长：鈴木聡、広報局长：大西正紀、士会支部局长：平賀篤

総会の議事録や組織図は当士会 HP に掲載されていますので是非一度ご覧になってください。

本年度の総会も COVID-19 感染拡大のため、会員の皆様には総会への参加の自粛と書面による決議権の行使をお願いしながら、必要最小限のスタッフは会場である事務所にて、そのほかの執行部役員はオンラインでの参加になりました。

また今年は、オンラインでの参加も可能としましたが、役員以外の会員の先生方の参加も昨年以上にありました。

皆様のご協力のおかげで無事総会を開催することができました。
ありがとうございました。

事務管理局长 有泉 静佳
(山梨県立あけぼの医療福祉センター：yamanashi.pt.jimu@gmail.com)



令和4年度より山梨県理学療法士会の学術誌 「理学療法やまなし」が発刊されます

理学療法の臨床現場において、根拠に基づいた治療を展開することは極めて重要な視点であると言えます。理学療法がさらなる発展をするためには客観性の高い知識の蓄積が必要です。そこで山梨県理学療法士会では令和3年度に学術誌編集部設立準備委員会を発足し、令和4年度発刊に向けた準備が始まりました。

本誌の目的は、質の高い理学療法が提供できるような客観的知識の共有です。具体的には理学療法またはそれに関する領域・各分野における研究報告の掲載・情報発信、理学療法および関連分野における最近の傾向や成果の掲載、卒後継続教育の奨励（生涯教育を含む論文等の掲載）、山梨県理学療法士会学術大会等にて取り上げられたテーマや発表内容・参考・引用論文等の紹介および関連情報の掲載、山梨県理学療法士会の発展にかかわる記録になります。

学術誌名を親しみやすさ、覚えやすさの観点から「理学療法やまなし」という学術誌名にいたしました。令和4年度は学術誌と学会誌の合冊で発刊する予定となっています。年明けには皆様のお手元にてご覧いただけると思います。

投稿記事の種類は、研究論文、報告、症例研究、実践報告、その他（総説・短報・紹介など）があります。学術誌と聞くと、研究機器を用いて幾つものデータを収集、統計解析などハードルが高い印象をお持ちだと思います。しかし、臨床現場で診ている症例での検討も記事にする事が可能です。皆様の臨床経験を共有する事で、理学療法士の質を向上させる事が可能であると考えています。

また、学術誌への投稿は研究業績のみならず、令和4年度より施行された日本理学療法士協会の新生涯学習プログラムにおける登録理学療法士や認定・専門理学療法士の更新にも活用できます。是非論文の投稿をご検討ください。詳しくは山梨県士会のホームページにてご確認ください。皆様の論文投稿をお待ちしております。

学術大会局 学術誌編集部 相原 正博
帝京科学大学：gakujuutsuy@gmail.com



第25回山梨県理学療法士会学術集会 (Web) 開催のお知らせ

特別講演に京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻 准教授 建内宏重 先生をお招きし、「変形性関節症の理学療法を拓く」と題し、ご講演いただきます。本年度は Web での開催で準備を進めており、当士会員は無料にて参加が可能となっています。奮ってご参加ください。

○会期 令和5年2月12日(日)
○プログラム

● 特別講演

「変形性関節症の理学療法を拓く」

特別講演講師

京都大学大学院 医学研究科人間健康科学系専攻 准教授 建内 宏重 先生

● 教育講演

「基礎から学ぶ研究手法 一日々の臨床を客観化するための基礎知識一」

教育講演講師

帝京科学大学 医療科学部 学療法学科 講師 平賀 篤 先生

● 一般演題

○大会長 恵信甲府病院 井村順治 先生

○参加費 山梨県理学療法士会会員 無料

非会員 (PT 協会員以外、OT、ST 等) 1,500 円

学生 無料

○参加申し込み方法

11月中旬に山梨県理学療法士会のホームページにてお知らせ致します。

学術大会局 士会学術集会部 宮野 将貴
甲府城南病院：shikaigakujuutu1@gmail.com



対面集合形式の学術集会を行うには、まだまだ越えなければならないハードルがありますね。写真は2020年に行われた学術集会です。このような光景の再開を待ちわびます。



事務管理局からのお知らせ

◆ 会員情報の変更手続き(異動、休会、退会、会費納入方法等)について

(公社)日本理学療法士協会HPの「マイページ」から手続きを行ってください。
マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行したIDとパスワードが必要です。
[IDやパスワードがわからない]、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、
お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

(公社)日本理学療法士協会 TEL:03-5843-1747

*会員情報につきましては、(公社)日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理
されているため、県士会では対応ができません。

◆ (公社)日本理学療法士協会の年会費割引制度の案内

日本理学療法士協会には年会費の「育児休業割引」、「シニア割引」、「海外会員割引」があり
ます。

詳細は日本理学療法士協会HP「年会費」をご覧ください。

◆ 会員の慶弔があった場合について

一般社団法人山梨県理学療法士会 慶弔規定に基づき対応いたします。

山梨県士会HPの「お問い合わせ」のページ内にある「会員慶事通知フォーム」、「会員弔事通
知フォーム」からお願いします。

◆ 事務管理局へのお問い合わせについて

山梨県士会HPの「お問い合わせ」のページ内にある「事務管理局メールフォーム」から願
いいたします。

*インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当 有泉
TEL:0551-22-6112(療法科直通)までお願いします。

◆ メール配信について、アドレス登録のお願い

士会では研修会の通知や情報提供をメール配信にて行っています。
会員の皆様には、アドレス登録についてご協力いただきますようお願いいたします。

- ・登録メールアドレスは1会員1アドレスでお願いします。
- ・一度登録したアドレスを変更する場合は、登録解除フォームにて登録メールを解除後
に、新しいアドレスを登録しなおしてください。

メール登録フォームURL:

[http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?
gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showRegisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf)



登録メール解除フォームURL:

[http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?
gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf](http://form3.yptamail.info/fm/mailUserExt/showUnregisterForm?gpId=rpnONZthgtfUqrrwtLaiOgzf)



* 会員番号について

一部の先生から会員番号について問い合わせがきています。
会員番号は日本理学療法士協会と共通になっております。
会員カードに記載されている8桁の番号になります。
理学療法士免許の登録番号ではありません。

ここに記載されている8桁の番号です





途絶えることのないバトンを君に /

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 42-1

帝京科学大学 相原 正博

みのりの里介護老人保健施設旭ヶ丘の渡辺格先生よりバトンを頂きました、帝京科学大学の相原正博です。

COVID-19 が流行し始め、早くも3年が経とうとしています。大学では対面の講義が続き、学生も感染症対策に徹底しての大学生活を送っています。毎年、感染症終息を期待しますが、収まりません。数年は上手く付き合っていかなければならないかもしれません。



さて、家庭では、子供達も自由に遊びに行けない日々が続く中、ストレスを溜め込まないように工夫をしています。最近では、キャンプに行き自然と触れ合いながら体を動かす事を増やしています。キャンプは、テント設営や食事の準備を子供が率先して手伝ってくれます（普段は遊ぶ事が第一優先）、昆虫採集や川遊びなど色々な事が学びになります。子供のストレス解消と考えていましたが、大人のストレス解消にも繋がっています。

今回は、湯村温泉病院の菊池卓先生にバトンを渡します。よろしくお願いします。

原稿を募集しています!

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

※ 第161号発行は、2023年3月を予定しています。

原稿の締め切りは

1月中旬です。

リレーエッセイ

Part 42-2

特別養護老人ホーム田富荘 森田 亮一



NAC 湯村 長沼大先生よりバトンを引き継いだ森田です。

理学療法士になって10年が経過し、幅広い業務に携わるようになってきました。最近では、副業として記事を執筆する仕事を請け負っています。関わる人や業界が変わると、仕事に対する考え方が全く異なることに驚きながら、本業を含めて日々真剣に取り組んでいます。

新たな業界に挑戦することは簡単ではありません。しかし、そこで得られた経験は大きく、より幅広い視野を持って人と関われるようになったと感じています。新しい挑戦にはとても労力がかかりますし、挫折も経験しました。それでも、自らが学んできた知識や体験が人の役に立つ仕事につながっているのだと思うと、嬉しいものがあります。また、驚きなのは記事単価も自由自在で1年間で10倍に変わることも普通だということです。この経験もまた誰かの役に立てられるように活動を続けていきます。

今回は、特別養護老人ホーム田富荘の渡辺恭介先生へバトンをお渡しいたします。よろしくお願いします。

編集後記



7・8月の台風・豪雨にて被災された方へ心よりお見舞いを申し上げます。そして全ての医療・福祉に従事している方々と、お忙しい中、快く執筆をいただいた諸先生方に感謝申し上げます。

さてある日、実兄が SNS 上でつぶやいていた。「多様性は認めたい。認めるには個人情報が必要。個人情報は保護されるべき。認めたい多様性が判断できない。判断できないので黙っているしかない。」

兄は二項対立をちよつとずつズラすような皮肉をつぶやきがちだ。そもそも他人から見れば私も「多様性の一部」である。相手も黙っているしかない。いや、黙ってられる人ばかりでもない。

この理論を展開していくと、「多様性において匿名性を保ち且つ承認できる包括的な判断基準を作る必要性」が感じられる……。いかん、兄に似てきた、いかん。

また会報誌発行の際には引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

- 【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会
- 【代表】 磯野 賢
- 【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之
- 【編集・印刷】 株式会社 たけまる
- 【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366
E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp



